2021/8/23 S さん

「認茶屋」への参加は、私の安心感の絆です。

夫が認知症という診断を受けた時には、これからどういう生活が迫ってくるのかとても不安でした。

そこで主治医の先生から「認茶屋」のお話を聞いた時には、直ぐに参加することを決めました。

この会は患者と家族が一緒に参加する会で、季節に合わせてクリスマス飾りを作ったり、

みんなで歌ったり、書初めをしたり、食事会をしたりと気軽に楽しく参加できます。

何よりも夫が喜んで参加し、おしゃべりを楽しんでいる様子を見て、嬉しくなります。

また、他の患者さん家族とお話をすることで不安も解消されます。

夫は「今日は髭を剃って、身だしなみを整えて行こう！

ここで何か挑戦できることはないか！という気持ちで行く。」と言ってます。

これから先、何か困りごとが生じた時には、何か一助の手を差し伸べてくれる会だと思います。